

## 清華大学と新竹教育大学の合併案、論文重視か教育重視か

清華大学と新竹教育大学の合併に希望が見えてきた。先週清華大学と新竹教育大学の両大学はそれぞれ校務会議で可決され、相互合意に光が見えた。一週間以内には教育部に報告し最終審査を通ると、早くも両校は来年にも「清華大学」として合同募集を行う。

その他、高雄海洋科技大学も人気の合併対象で、成功大学、台湾海洋大学、高雄第一科技大学らが校務会議で可決し、高雄海洋大学を「嫁に迎える」ことを期待していたが、同校は高雄第一科技大学を選び、早ければ来年8月には「高雄科技大学」として募集を開始する。

清華大学の副学長周懷樸氏によると、合併した後は、新竹教育大学は「新竹教育学部」に改名し、清華大学の一部となる。両校は合併の後も教員人数を減らすことは無く、教員数と学生数の割合が現在の1:18から1:16にまで下がることで、学生により良い教育環境を提供できるようにするという。

両校で重複していた学科に至っては、クラス人数を適度に調整する。周懷樸副学長は、重複している学科は中国語、外国語、数学、学習科学等があり、1クラスに統合して募集をすることになるものの、「芸術設計学科」を新設し、理工人材の文化クリエイティブデザイン能力を強化したいと話す。

清華大学の学生は合併案には前向きで、「理工学科で知られるキャンパスも、ようやく男女比が下がる」と期待する。学生会長の徐光成は、合併を通して一般教養をより充実させることは出来るが、一年生が寮に住む決まりになり、更に新竹教育大学の生徒が増えることで、高学年の生徒が寮に入ることが出来ないことが危惧されると話す。

## 清華大学教授は国際ランキングへの影響を危惧

反対に、学内の教授陣は、清華大学は国際的ランキングを重視しており、国際的な学術評価も学術論文を重視しているが、新竹教育大学は教育を重視している為、学校全体の論文引用比率を引き下げ、結果としてランキングに影響することを危惧している。

高雄にある海洋科技大学は、先日校務会議で合併案が可決された。同校の主任秘書潘志弘氏によると、海洋大学は高雄第一科技大学と規模、地理的にも近く、合併した後は学生数が1万6千人以上に達することなどから相乗効果が狙えるため、合併に意欲があることを月末教育部に説明しに行くという。

しかし、基隆にある台湾海洋大学はまだ諦めておらず、教育部に対して高雄海洋大学と合併の意欲があることを伝える模様だ。同校学長の張清風氏は、『教育部による合併は「財政面で有効」というだけでなく、台湾の海洋人材を育成するという角度から考えるべき。台湾は海洋国家で、全国では台湾海洋大学、高雄海洋科技大学及び台北海洋技術学院の3校しか専門大学が無い現在、高雄海洋科技大学が総合大学と合併してしまうと、「陸路」から海洋を考えざるを得ず、海洋系学科が疎外されることになりかねない。国内の海洋海運人材の育成に影響するだろう』と主張している。

聯合晚報 2015年11月11日

[広告]

## 日本全国高等学校の校長・理事長 各位

貴校で **台湾 大学進学講座** を設置しませんか。(全国100校限定)

### メリット

- ✔ グローバル化に対応している貴校のイメージアップ。
- ✔ 卒業生は全員台湾の大学に合格が可能なため、大学進学率がアップする。
- ✔ 台湾の高校や大学との交流が出来る。
- ✔ このコースを設置することにより他校との差別化が出来る。

### 先生を派遣する為の条件

- ✔ 教室や光熱費、インターネット環境を無償で提供していただくこと。
- ✔ 学年を問わず、5名以上の台湾の大学への進学希望者を募っていただくこと。
- ✔ お近くに台湾大学進学予備校の教室が無いこと。

中国語を教える  
台湾の講師を  
派遣します。

※進学相談や大学への申請手続きなどは台湾留学サポートセンターが全て行いますので、貴校にご負担はお掛けしません。

学力や経済力に不安がある生徒、

合宿参加の前に少しずつでも学習を始めたい生徒には

**マンツーマンWEBコース** をお勧めします。

- 台湾のネイティブ講師が、オンラインでマンツーマンレッスンを行います。(200~300時間)

- 費用は1時間あたり2,000円~<sup>\*</sup>(税別) <sup>\*\*</sup> ※お支払い方法により異なります。
- WEBコースのみ受講の場合、特定の大学や学科の中から進学先を選択。  
(それ以外の大学(学科)を選択したり、事前中国語学習を怠ると、4年で卒業出来ない可能性が高まります。)
- 厳選なる事前審査を行い、100%合格を保証します。
- 給付奨学金は受給できない可能性があります。

